

唐津2号機営業運転に入る

1年4カ月の建設工事に終止符

〔唐津＝7月2日〕当社が45年2月から主要機器据付け工事を行っていた九州電力唐津発電所第2号機（出力37万5,000KW）が7月2日午前0時から営業運転にはいった。

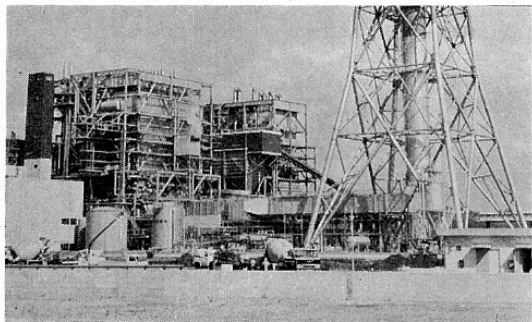
当社は45年2月28日のボイラドラム吊上げ工事から本格的に2号機の主要機器据付け工事に着手、46年1月29日に火入れ、3月15日に通汽と順調に工事を進めていた。

同2号の通産省官庁検査は6月30日から始まり、①ボイラの安全弁テスト、②各種の保安試験、③発電機

変圧器などの耐圧試験などが7月1日にかけて行なわれ、2日午前0時にはタービンに全負荷の出力37万5,000KWがかかり、営業運転にはいった。

同2号の営業運転開始で、約1年4ヵ月にのぼる建設工事に終止符をうち、建設工事を担当した唐津事業所では1、2号の保修工事に従事することになった。

また、すでに同事業所では同3号機の建設先行工事についても着手している。



〔写真〕営業運転に入った唐津2号機（左）右は同1号機